

平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	土木部
部(局)長名	松本 利久
理事名	稲葉 武司（事業企画調整担当）

【基本姿勢】

道路や公園は、高質で安全なまちを支え、社会活動の基盤であり市民生活に潤いと豊かさを与えるものです。

これらのストックを良好に維持管理し、現世代のみならず次世代へも引き継いでいくことは、土木部の最重要課題であります。

道路ストックについては、各種点検・調査を行い、事後対応から事故を未然に防止するため、予防保全に重点を置いた計画的な維持管理に努めていきます。

都市公園施設についても、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理・修繕・更新を進めていきます。

これらを適切に執行していくための維持管理費用を「まちの固定費」ととらえ、「まちの品格」を保つため、その確保に努めていきます。

また、都市計画道路や地域再整備を図ることも重要課題であり、安全で快適な都市基盤をつくり、まちの魅力を向上させていきます。

また、「歩く」ことを基本とした市民の移動がより円滑に行えるよう、歩行空間のバリアフリー化や安全な自転車利用の環境整備、さらに公共交通の利用環境向上に努めていきます。

【達成度について】

- A：達成（設定した目標を達成することができた。）
- B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
- C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	持続可能なインフラマネジメントの推進	B
2	うるおい豊かなみどりのまちづくり	B
3	交通環境の整備	B
4	都市基盤の整備	A

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 1	持続可能なインフラマネジメントの推進
--------	--------------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	道路ストックの有効利用と事業費の平準化などのため、橋梁、大型ボックスカルバートの点検結果から、個別施設計画を作成します。また道路小規模附属物についても点検・補修計画を作成し、維持管理に努めます。適切な維持管理費用を「まちの固定費」と捉え、「まちの品格」を保つよう適切な維持管理費の確保に努めます。
---------------------	--

活動目標
昨年度に引き続き、法令で義務付けられた橋梁の点検を実施します。今年度は新たに大型ボックスカルバートの点検を追加します。インフラ長寿命化計画行動計画（個別施設計画）を作成します。
老朽化した道路小規模附属物について、施設の更新を実施します。
安全で快適な歩行空間の形成のため、街路樹の根上り対策を実施します。

具体的な取組実績
平成30年度は、大阪府による一括発注システムを活用し94橋の橋梁点検、2か所の大型ボックスカルバート点検を行いました。
平成30年度は、単柱標識の点検を約1,020本実施し、台帳を作成しました。また、38か所の標識の取替を行いました。
平成30年度は、補修計画に基づき、52か所の根上り対策を行いました。

達成目標
近接目視による点検を橋梁80橋、大型ボックスカルバート2か所について実施します。点検結果に基づき橋梁、大型ボックスカルバートについて個別施設計画を作成します。
市内全域の単柱標識（この先行き止まり、歩行者専用道路など）の点検を実施し、補修計画を作成します。
市内全域の歩道舗装の根上り補修事業計画を作成、適切な事業費確保を目指します。

達成状況	達成度
平成30年度末において、対象となる橋梁209橋及び大型ボックスカルバート2か所の法定点検が完了しました。橋梁の個別施設計画は、平成29年度末時点での暫定版を作成しました。大型ボックスカルバートの個別施設計画は、詳細な点検報告書が届き次第作成する予定です。	B 一部達成
市内全域の単柱標識の点検を実施し、補修計画を作成しました。また、腐食が進行している標識の取替を38か所で実施しました。	A 達成
根上り調査報告書（根上り補修事業計画）に基づき根上り対策を52か所で実施しました。	A 達成

総合評価・総括
道路や橋梁などの社会基盤を適切に維持管理するために、事後対応型の維持管理から予防保全型の維持管理に重点を置き、橋梁等の点検や標識の調査を行い、全体としてはおおむね達成できていると考えています。 今後は、市民の安全安心を守るため、各構造物の補修計画に基づき計画的に維持補修を行っていきます。

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 2	うるおい豊かなみどりのまちづくり
--------	------------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公園・遊園・緑地・緑道の適切な維持管理に取り組む
---------------------	--------------------------

活動目標
千里花とみどりの情報センターを「みどりのまちづくり実践型シンクタンク施設」として活用を進めていきます。
利用実態に応じた新たな維持管理水準、管理運営の考え方に沿った、公園の再整備方針を策定します。
「彩団地助成金制度」の普及啓発に取り組むとともに、効果検証を行います。

具体的な取組実績
市民参画・協働によるみどりのまちづくりの実践を支援するため、産官学の連携体制を構築しながら、調査・研究に取り組みました。都市公園等の運営のあり方や新たなプロジェクト始動に向け、月1～2回会議を行いました。また、樹木の適正管理をテーマに第2回シンポジウムを開催しました。
今後の持続可能な公園等の整備や管理の手法を構築するため、国の方針にも示された観点を踏まえ、利用実態の調査や特性の分類から抽出された、重視すべき視点や課題へ対応する公園のあり方の検討を開始しました。
平成30年度は5棟22件の申請を受け付けました。6月に住戸以外のベランダも対象とする制度の拡充を行いました。全申請者71名へのアンケート等により制度の効果検証を行いました。

達成目標
公園利用の新たな可能性を探り、都市魅力の向上につなげます。
公園を取り巻く環境の変化や、公園利用者の多様な要望・ニーズへ柔軟に対応するとともに、新たな利活用を踏まえた公園などの質的向上と再生につなげます。
みどりに関する助成制度の在り方を検討し、見直しにつなげます。

達成状況	達成度
千里花とみどりの情報センターのシンクタンク機能として、公園利用についての調査・研究を行うとともに、平成31年3月から”すいた公園「つかう」プロジェクト”を始動し、周知を行っています。	A 達成
公園に対する市民ニーズや利用形態の多様化への対応が求められる中、千里南公園の活性化や利活用を図るひとつのツールとして、民間事業者によるカフェの建築・運営を開始しました。	A 達成
彩団地助成金制度について、効果検証を行い、景観形成や波及効果が薄いことから制度を廃止することとしました。その他のみどりに関する助成制度についても、評価シートの作成を進めています。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>現在取組を始めている、千里花とみどりの情報センターでの、新たな公園の魅力向上につながる取組や、千里南公園にオープンしたカフェなどの新たな公園の利活用、みどりに関する助成制度の見直しは、都市や公園の魅力向上し、重点課題である「うるおい豊かなみどりのまちづくり」につながるものとして取組途中であるため、今後も引き続き取組んでいく必要があります。また、公園・遊園・緑地・緑道の適切な維持管理のため、公園の再整備方針や、市民参加による維持管理の仕組みの検討は取組途中であり、引き続き検討を進めます。</p> <p>達成状況に関しては、望んでいた効果は得られなかったため、方向転換したものや、取組途中のものがあります。そのため、次年度以降の目標設定に反映させつつ、目標の達成に向けて取り組みを進めていきます。</p>

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 3	交通環境の整備
--------	---------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進を図るとともに、公共交通空白地域における交通対策を検討します。また交通ルール・マナーの啓発に取り組みます。
---------------------	---

活動目標
鉄道、バス路線図やバス乗場、主な施設へのアクセス情報の提供等により、公共交通利用の環境改善、促進に努めます。また公共交通空白地域における交通対策を検討します。
交通安全教育や自転車の安全利用の啓発を進めていきます。

具体的な取組実績
市全域の鉄道や路線バスなどの公共交通の路線情報などを掲載した「吹田市公共交通マップ2019」を作成しました。作成費の一部について広告収入による財源を確保しました。また、千里山駅東側地域においてアンケート調査を、西側地域においてアンケート調査及び乗合交通による実証実験を行いました。
春・秋の全国交通安全運動において、街頭啓発キャンペーンなど各種の交通安全啓発事業を実施しました。また、「市報すいた」において自転車のルールとマナーについて掲載し、市民への交通安全啓発を行いました。

達成目標
利用者の視点に立った公共交通の情報提供等により、公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進に努めます。また公共交通不便地域における移動手段の確保に努めます。
自転車関連事故の減少を目指します。

達成状況	達成度
吹田市公共交通マップを市内転入窓口及び公共施設等で継続的に配布しました。また千里山駅東側及び西側地域におけるアンケート調査や乗合交通による実証実験により、地域のニーズや現場状況の把握が出来ました。引き続き、当該地域における公共交通不便地域の実状に適した交通対策について検討します。	A 達成
街頭啓発キャンペーンや、小学校等における交通安全教育の実施、また多くの市民が参加するイベントでの交通安全啓発を実施しました。交通事故件数は前年と比較して減少しましたが、自転車関連事故は増加しました。	B 一部達成

総合評価・総括

市内の公共交通、特に路線バスの維持、確保に向けて、市としても事業者との協力のもと利用促進は必須であると考えており、その取組の一つとして、わかりやすい情報提供として公共交通マップを継続的に作成し配布していくことは重要であると考えています。また、千里山地区等における公共交通不便地域において、平成30年度実施した実証実験結果の分析を踏まえ、引き続き、実状に適した交通対策の検討を行います。

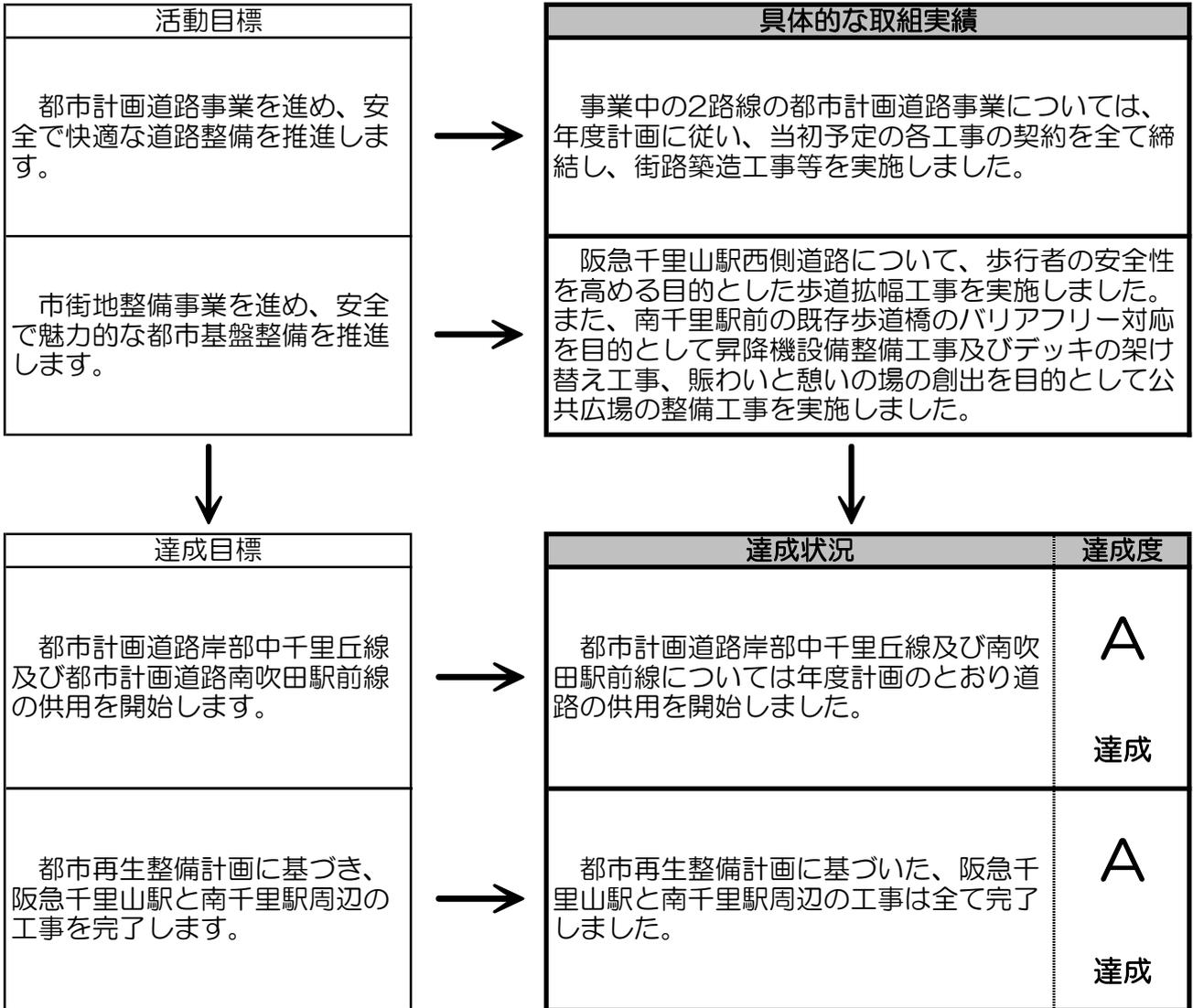
また、交通安全に関する各種啓発行事の実施により、交通事故件数は減少傾向にあるが、自転車が関連する事故が前年と比較して増加しているため、今後も関係機関と連携しながら交通安全意識の高揚を図ります。

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 4 都市基盤の整備

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標) 都市計画道路新設事業・市街地整備事業では、都市基盤整備を推進し都市機能の向上を図ります。



総合評価・総括

都市計画道路事業としましては、都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業及び都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業を計画どおりに進め、供用を開始することができました。

千里山駅周辺整備事業としましては、駅西側道路の拡幅工事を進め、完了することができました。

千里南地区センター再整備事業としましては、駅東側の歩道橋整備、昇降機設備工事、公共広場整備工事を進め、完了することができました。